

令和8年度

議会要覧



南陽市議会事務局



この市章は南陽市の「ナ」を紋章化し、市民の団結と融和を図り市の限りない発展を象徴したものです。

(昭和42年4月1日制定)

南陽市民憲章

わたくしたちは、美しい自然と太陽に恵まれた南陽の市民です。

南陽市は、北に丘陵、南に沃野、すぐれた伝統と歴史をもった未来あるまちです。

わたくしたちは、このまちの市民であることに誇りをもち、より豊かな住みよいまちを築くために、力をあわせ、進んでこの憲章をまもります。

1. 緑と水を大切にし、きれいなまちをつくります。
1. 心とからだをきたえ、明るいまちをつくります。
1. きまりを守り、たすけあって楽しいまちをつくります。
1. 働くことに誇りをもち、豊かなまちをつくります。
1. 教養を深め、かおり高い文化のまちをつくります。

(昭和51年5月1日制定)

目 次

地 勢・沿 革	1
I 市 の 概 要	3
II 議 会	
1 議員の構成	4
2 議員名簿	5
3 議会の構成	6
4 議会の運営	8
5 印刷物	8
6 特別職報酬及び給料	9
7 旅費・調査費・その他	9
8 歴代議長	10
9 歴代副議長	11
10 歴代事務局長	12
11 議会事務局	12
III 議会活動状況	
1 議会開催状況	13
2 議案提出状況	14
3 議案・議決状況	15
4 請願処理状況	15
5 一般質問者数	15
6 傍聴者数	15
7 一般質問	16
8 議員発議状況及び審査結果	18
9 請願審査結果	19
10 各常任委員会等行政視察状況	19
11 行政視察来市状況	20
IV 行 財 政	
1 歴代市長	21
2 歴代助役・副市長	21
3 歴代収入役	21
4 南陽市行政機構図	22
5 令和7年度 議会費（当初予算）	24
6 令和7年度 一般会計（当初予算）	25
7 令和7年度 各会計予算	27
8 令和7年度 一般会計歳出予算（性質別予算）	28

地勢・沿革

南陽市は、東に奥羽山脈をひかえ、南から西にかけて吾妻山系と飯豊山系に囲まれた山形県南部の置賜盆地に位置し、北部は山地で南に沃野が開け気候にも恵まれており、米、野菜、果樹などの栽培に適している。

また、風光明媚な県南県立自然公園や赤湯温泉など、豊富な観光資源を有する地理的条件に恵まれ、鉄道道路交通網にも恵まれた県南地方の要衝の地にある。

市内の長岡丘陵からは、約1万数千年位前（旧石器時代）の石器が発見されており、既にこの頃には人間が住んでいたと考えられ、この当時の人口は、今の南陽市地域では、おそらく10人とか20人位であったと考えられる。

土器を使うようになった縄文時代（約12,000～2,000年位前）の遺跡は、須刈田の大野平遺跡や宮内の久保遺跡など市内に70カ所以上あり、当時の住居跡や土器（生活用具）石器（生産、狩り、信仰の用具）など数多く発見されている。

今から約2,000年位前（弥生時代）になると、菰生田出土の石包丁（石製の穂つみ具）が示すとおり、この地方にも稲作文化が伝わった。

農業生産力が高まった次の古墳時代（4～8世紀）には、はじめに長岡の稲荷森古墳（全長96mの前方後円墳、国指定史跡）、その後に上野や二色根地区の小型の古墳がつけられた。

奈良時代、平安時代（8～12世紀）には、政治や行政の仕組みも大分整い、市内郡山地区には当時の郡役所があったと考えられている。

また、宮内の熊野大社や、赤湯の薬師寺の創建も9世紀ごろと伝えられているように、仏教文化が栄えるとともに、文字、税など、今の生活の原形がつけられた時代である。

武家政治の鎌倉時代（1192年～）には、幕府は大江時広を当地方（長井荘）の地頭に任じ、以後八代もその支配は続いた。

また、このころからこのあたりを北条郷と呼んでいたことが古文書からうかがい知ることができる。

14世紀、室町時代になると、天授6年（1380年）、伊達氏の支配に変わる。これらの時代の仏教信仰の深さは、竹原の「正元元年大日板碑」（県内最古、県指定）他、数多い板碑などによりしのばれる。

戦国時代にかけての伊達氏の支配は、宗遠から独眼竜として知られる政宗が岩出山に移封されるまで211年間も続いた。

のち、蒲生氏が7年間支配、1598年から明治維新にいたるまで上杉氏の支配となる。この時代に市内各地の特色が生まれた。

明治2年、版籍奉還とともに上杉茂憲が藩知事に任ぜられたが、地方は従来どおり代官制であった。

明治4年7月廃藩置県によって米沢県に、同年11月置賜県と改められるとともに五郡制を廃し27区小区に分割、明治6年28区小区に分けた。

昭和30年、宮内町、漆山村、吉野村、金山村が合併し宮内町、沖郷村と梨郷村が合併し和郷村、赤湯町と中川村が合併し赤湯町となった。

昭和42年4月1日、宮内町、赤湯町、和郷村の2町1村が合併し、山形県下13番目の市、南陽市が発足した。

新市名については、当時の県知事安孫子藤吉氏が名づけ親となり、「南陽の菊水」から「北に丘陵・南に沃野、まことに住みよいところ」の字義をもって「南陽市」と命名された。

アクセスマップ



▼東京から150分（新幹線を利用）

東京駅	乗り換えなし	赤湯駅	駅からタクシー	赤湯温泉
145分		5分		

▼仙台から90分（車を利用）

仙台	(東北自動車道—(村田JC)山形自動車道等)	赤湯温泉
90 km		90分

▼新潟から140分（車を利用）

新潟	(日本海東北自動車道—国道113号)	赤湯温泉
125 km		140分

車をご利用の方

- ◇東京……(東北自動車道 約4時間)……福島大笹生IC……(東北中央自動車道 約40分)……南陽高島IC……南陽市
- ◇新潟……(国道113号 約2時間20分)……南陽市
- ◇仙台……(東北自動車道—山形自動車道—東北中央自動車道 約1時間30分)……南陽高島IC……南陽市
- ◇仙台……(東北中央自動車道 約30分)……白石IC……(国道113号 約1時間20分)……南陽市

列車をご利用の方

- ◇JR 東京駅……(山形新幹線 約2時間30分)……赤湯駅

空港をご利用の方

- ◇山形空港……東根IC……(東北中央自動車道 約50分)……南陽高島IC……南陽市
- ◇仙台空港……名取IC……(仙台東部道路 約20分)……仙台南IC……(東北自動車道—山形自動車道—東北中央自動車道 約1時間30分)……南陽高島IC……南陽市

I 市の概要

- 1 市制施行 昭和42年4月1日
- 2 人口 28,357人 (男13,746人・女14,611人)
世帯数 11,514世帯
(令和8年4月1日現在)
- 3 面積 160.52km²

土地利用状況 (地目別面積)

(単位: km²)

田	畑	宅地	池沼	山林	牧場	原野	雑種地	その他	計
19.67	13.96	9.01	0.20	80.70	0.46	3.87	4.64	28.01	160.52

令和7年1月1日現在

4 産業別就業者数

年次 産業	平成17年		平成22年		平成27年		令和2年	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
総数	18,089	100%	16,344	100%	16,419	100%	16,289	100%
第1次	2,234	12.3	1,840	11.3	1,696	10.3	1,537	9.4
第2次	6,055	33.5	5,217	31.9	5,368	32.7	5,180	31.8
第3次	9,734	53.8	9,123	55.8	9,309	56.7	9,572	58.8
分類不能	66	0.4	164	1.0	46	0.3	—	—

(国勢調査より)

5 都市形態 平地農村都市

6 市の木 (さくら)



◎赤湯温泉桜まつり

日本古来から愛され、春を象徴する花として市民のだれもが親しみ、心のよりどころとしてきた樹木で、昭和62年4月1日、市の木として制定。

市の花 (きく)



◎菊まつり

伝統ある“南陽の菊まつり”にちなみ、市の花としてふさわしく、昭和62年4月1日、市の花として制定。

Ⅱ 議 会

1 議員の構成

(1) 議員数

条 例 定 数	1 6 人	(令和6年の一般選挙より)
現 員 数	1 6 人	

(2) 任 期

現 議 員	令和6年4月1日～令和10年3月31日
正 副 議 長	議員申し合わせにより2年(再任妨げない)
常 任 委 員 会	委員会条例第3条により2年
議 会 運 営 委 員 会	常任委員の任期に準用

(3) 党派別議員

(令和8年4月6日現在)

党 派 別	人 員	会 派 別	人 員
自由民主党	3	保守公明クラブ	7
公明党	1	六合会	2
日本共産党	1	真政会	2
立憲民主党	1	会派に所属していない議員	5
国民民主党	1		
無所属	9		
計	16	計	16

(4) 年齢別議員数

(令和8年4月6日現在)

年齢 (歳)	～49	50 ～55	56 ～59	60 ～65	66 ～69	70 ～75	76 ～79	80～	計
人員	3	1	1	3	4	4	0	0	16

・最低年齢41歳 ・最高年齢74歳 ・平均年齢62歳

(5) 当選回数別議員数

(令和8年4月6日現在)

回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
人員	9	1	3	1	0	1	1	0	0	16

2 議員名簿

議 長 遠 藤 榮 吉

副議長 島 津 善 衛 門

議 席 順

(令和8年4月6日現在)

NO	議員氏名	生年月日	年齢	住 所	電 話	所属政党	当選
1	高岡 遼多	S59. 7. 20	4 1	南陽市宮内 3572	47-2202	無所属	1
2	大友 太朗	S56. 6. 6	4 4	南陽市宮内 2658	47-2413	無所属	1
3	茂出木 純也	S55. 6. 12	4 5	南陽市竹原 2850-4	47-5201	無所属	1
4	佐藤 和広	S46. 3. 30	5 5	南陽市池黒 1546-11	47-5265	自由民主党	1
5	中村 孝律	S42. 4. 23	5 8	南陽市川樋 2013	49-2988	無所属	1
6	外山 弘樹	S37. 9. 6	6 3	南陽市三間通 158-16	43-5395	無所属	1
7	佐藤 信行	S35. 2. 18	6 6	南陽市赤湯 2961-6 菅原ハイツ 203 号	43-2679	自由民主党	1
8	小松 武美	S34. 4. 11	6 6	南陽市小岩沢 41-15	49-2533	無所属	1
9	濱田 藤兵衛	S28. 8. 21	7 2	南陽市宮内 3106-31	47-2128	日本共産党	1
10	伊藤 英司	S37. 10. 23	6 3	南陽市長岡632-4	43-4234	公明党	2
11	須藤 清市	S31. 8. 4	6 9	南陽市赤湯 1758-1	090-7933 -1515	無所属	3
12	山口 裕昭	S40. 8. 14	6 0	南陽市若狭郷屋848-22	40-2506	自由民主党	3
13	島津 善衛門	S29. 1. 28	7 2	南陽市金山735	45-3409	無所属	3
14	高橋 一郎	S31. 1. 7	7 0	南陽市櫛塚587-10	43-2559	立憲民主党	4
15	板垣 致江子	S27. 4. 3	7 4	南陽市蒲生田1370-3	47-4521	国民民主党	6
16	遠藤 榮吉	S33. 8. 25	6 7	南陽市宮内386	47-2861	無所属	7

3 議会の構成

(1) 常任委員会

委員会	定数 (人)	現員 (人)	所 管 事 項
総 務	5	5	総務課、みらい戦略課、財政課、税務課、総合防災課、会計課、選挙管理委員会事務局及び監査委員事務局の所管に属する事項並びに他の常任委員会の所管に属しない事項に関する調査及び議案、請願、陳情等を審査する。
文教厚生	6	6	市民課、福祉課、すこやか子育て課及び教育委員会事務局の所管に属する事項の調査及び議案、請願、陳情等を審査する。
産業建設	5	5	農林課、商工観光課、建設課、上下水道課及び農業委員会事務局の所管に属する事項の調査及び議案、請願、陳情等を審査する。

(2) 委員会名簿

(令和8年4月6日現在)

総務常任委員会 (5)		文教厚生常任委員会 (6)	
委員長	中村孝律	委員長	佐藤信行
副委員長	小松武美	副委員長	濱田藤兵衛
委員	須藤清市	委員	高岡遼多
委員	高橋一郎	委員	大友太朗
委員	遠藤栄吉	委員	佐藤和広
		委員	山口裕昭

産業建設常任委員会 (5)			
委員長	外山弘樹	副委員長	茂出木純也
委員	伊藤英司	委員	島津善衛門
委員	板垣致江子		

議会運営委員会(6)		議会報編集委員会(6)	
委員長	山口裕昭	委員長	高岡遼多
副委員長	伊藤英司	副委員長	中村孝律
委員	大友太朗	委員	茂出木純也
委員	佐藤和広	委員	佐藤和広
委員	須藤清市	委員	中村孝律
委員	高橋一郎	委員	小松武美

○ 置賜広域行政事務組合議会議員

遠藤 榮吉 山口 裕昭 高橋 一郎

○ 置賜広域病院企業団議会議員

遠藤 榮吉 伊藤 英司 須藤 清市

○ 監査委員 板垣 致江子

○ 会派会長 ・保守公明クラブ 山口 裕昭 ・六合会 高岡 遼多

・真政会 板垣 致江子

(3) 特別委員会

委員会名	設置年月日	構成	設置目的
予算特別委員会		議長を除く全議員15人	一般会計、特別会計、企業会計とも予算案の審査を行う。
決算特別委員会		議長と議会選出の監査委員を除く全議員14人	一般会計、特別会計、企業会計とも9月定例会で決算案の審査を行う。
情報管理適正化及び地域公共交通対策特別委員会	R7. 12. 19	7人	議会ICT化に関する情報管理の適正化を図ること、及び人口減少に伴う持続可能な地域公共交通のあり方に関する調査研究を行う。

(4) 議員全員協議会

市政及び議会全般に係る事項に関し協議又は調整を行う。

(5) 会派会長会

各会派間の意見の調整、連絡又は諸協議を行う。

4 議会の運営

(1) 議会運営委員会

- ・委員数…………… 6人
- ・構成…………… 会派の所属議員数での按分
- ・開催時期…………… 原則、議会開会3日前に開催する。(土日及び祝日の時は前日開催)

(2) 一般質問

- ・通告書提出期限…………… 議運開催日2日前の正午まで。(受付は通告書提出期限の1週間前からとする。)ただし3月定例会については、議運開催日の午前10時までとする。
- ・質問通告書の記載内容…………… 質問要旨はできるだけ詳細に記載し、確答を得られるよう配慮するものとする。
- ・質問方式及び時間…………… 一問一答方式で、初回のみ登壇し、一括質問一括答弁とする。また、時間は質疑答弁合計50分以内とする。
- ・発言の順序…………… 通告受付順とする。

(3) 予算の審査

- ・一般、特別、企業会計とも予算特別委員会に付託し審査する。

(4) 決算の審査

- ・一般、特別、企業会計とも9月定例会で決算特別委員会に付託し審査する。

(5) 請 願

- ・提出期限は、議運開催日2日前の正午とし、それ以降に提出されたものは、次の定例会で審査する。
- ・請願文書表は、全文記載する。

(6) 陳情・要望

- ・陳情書、要望書についてはコピーしたものを配布のみとする。

5 印 刷 物

(1) 会 議 録

- ・業者に委託 ・ A4判 横2段組 ・ 10部作成 ・ 予算1,413千円

(2) 議 会 報

- ・年4回 定例会毎に発行(臨時号発行もある)
- ・11,500部発行(地区長を通じて市内全世帯に配布)・予算2,237千円
- ・編集は、常任委員会毎に選出された議会報編集委員6人によるものとする。

6 特別職報酬及び給料

(単位: 千円)

職名	H元年4.1	2.4.1	4.4.1	6.6.1	9.4.1	18.9.21	27.4.1	30.10.1	R4.10.1	R6.4.1
議長	340	360	400	425	435					455
副議長	305	322	355	375	385					405
議員	285	300	330	350	360					380
市長	700	770	850	900	920	① (460)	③ (828)	④ (828)	⑤ (828)	
副市長 (H19.4.1~)	535	580	640	680	695	① (347)				
収入役	460	500	540	580	595	18.10.1~ 廃止				
教育長 (給料)	440	470	510	540	550	② 18.12.21改 正(385)				

※①市長・副市長の()は減額時の報酬額。H18.9.1~H22.7.29まで50%を減額。

②教育長の()は減額時の給料額。H18.12.1~H22.7.29まで30%を減額。

③市長()は減額時の報酬額。H27.4.1~H30.7.29まで10%を減額。

④市長()は減額時の報酬額。H30.10.1~R4.7.29まで10%を減額。

⑤市長()は減額時の報酬額。R4.10.1~R8.7.29まで10%を減額。

区分	期末手当		
	6月	12月	計
支給割合	$\frac{172.5}{100}$	$\frac{172.5}{100}$	$\frac{345}{100}$
加算割合	$\frac{140}{100}$		

(令和7年12月19日改正)

7 旅費・調査費・その他

○ 調査旅費

・ 常任委員会	1人年額	140,000円
・ 議会運営委員会	〃	140,000円
・ 議会報編集委員会	〃	80,000円

○ 補助金

・ 政務活動費 1人月額10,000円 5月に当該年度分を会派に交付

○ 費用弁償

区分	日当(1日)	宿泊料(1夜)	車賃(1km)
議長・市長	3,000円	14,800円	37円
副議長・議員・ 副市長	2,700円	14,000円	

○ 交際費 ・ 議会 800千円 ・ 市 1,450千円

8 歴代議長

代位	氏名	生年月日	就任年月日	退任年月日
初代	長嶋松五郎	M. 37. 11. 10	S. 42. 4. 1	S. 43. 3. 31
2	長島総兵衛	M. 43. 4. 30	43. 4. 12	47. 3. 31
〃	〃	〃	47. 4. 7	49. 4. 8
3	青木清信	M. 43. 3. 3	49. 4. 8	51. 3. 31
〃	〃	〃	51. 4. 8	53. 2. 4
4	小川宮次	M. 35. 11. 28	53. 2. 8	53. 4. 3
〃	〃	〃	53. 4. 3	55. 3. 31
5	山口五三郎	T. 8. 3. 28	55. 4. 8	57. 4. 5
〃	〃	〃	57. 4. 5	59. 3. 31
〃	〃	〃	59. 4. 6	61. 4. 2
〃	〃	〃	61. 4. 2	63. 3. 31
6	高橋吉美	T. 14. 11. 7	63. 4. 5	H. 2. 4. 5
〃	〃	〃	H. 2. 4. 5	4. 3. 31
〃	〃	〃	4. 4. 7	6. 4. 5
7	荒井幸昭	S. 15. 6. 23	6. 4. 5	8. 3. 31
〃	〃	〃	8. 4. 5	10. 4. 6
8	渡部敬	S. 6. 8. 3	10. 4. 6	12. 3. 31
9	小林啓市	S. 11. 9. 12	12. 4. 7	14. 4. 5
10	栗原晴峰	S. 22. 4. 14	14. 4. 5	16. 3. 31
11	塩田秀雄	S. 27. 12. 11	16. 4. 7	18. 4. 7
12	小野健一郎	S. 18. 9. 3	18. 4. 7	20. 3. 31
13	伊藤俊美	S. 16. 2. 10	20. 4. 4	22. 4. 6
〃	〃	〃	22. 4. 6	24. 3. 31
14	遠藤榮吉	S. 33. 8. 25	24. 4. 4	26. 4. 4
〃	〃	〃	26. 4. 4	28. 3. 31
15	田中貞一	S. 26. 1. 26	28. 4. 6	30. 4. 6
16	高橋弘	S. 21. 10. 17	30. 4. 6	R. 2. 3. 31
17	高橋篤	S. 27. 1. 16	R. 2. 4. 6	4. 4. 5
18	舩山利美	S. 29. 2. 22	4. 4. 5	6. 3. 31
19	遠藤榮吉	S. 33. 8. 25	6. 4. 4	8. 4. 6
20	〃	〃	8. 4. 6	在職中

9 歴代副議長

代位	氏名	生年月日	就任月日	退任月日
初代	船山新助	M. 31. 8. 8	S. 42. 4. 1	S. 43. 3. 31
2	遠藤東平	T. 5. 11. 7	43. 4. 12	47. 3. 31
〃	〃	〃	47. 4. 7	49. 4. 8
3	須貝庄作	M. 41. 12. 16	49. 4. 8	50. 4. 4
4	佐藤忠三郎	M. 42. 10. 17	50. 5. 13	51. 3. 31
〃	〃	〃	51. 4. 8	53. 4. 3
5	小林富市	M. 42. 1. 20	53. 4. 3	55. 3. 31
6	武田三郎	S. 4. 8. 22	55. 4. 8	57. 4. 5
〃	〃	〃	57. 4. 5	59. 3. 31
7	高野真雄	T. 4. 11. 20	59. 4. 6	61. 4. 2
8	高橋吉美	T. 14. 11. 7	61. 4. 2	63. 3. 31
9	加藤馨	S. 6. 10. 20	63. 4. 5	H. 2. 4. 5
10	嶋貫幸男	S. 3. 3. 15	H. 2. 4. 5	4. 3. 31
11	大坂正十四	T. 14. 9. 22	4. 4. 7	6. 4. 5
12	岩井一敏	S. 16. 1. 27	6. 4. 5	8. 3. 31
13	渡部敬	S. 6. 8. 3	8. 4. 5	10. 4. 6
14	五十嵐諒	S. 22. 2. 13	10. 4. 6	12. 3. 31
15	殿岡和郎	S. 14. 10. 2	12. 4. 7	14. 4. 5
16	小野田貞一	S. 5. 2. 24	14. 4. 5	16. 3. 31
17	伊藤俊美	S. 16. 2. 10	16. 4. 7	18. 4. 7
18	鈴木英昭	S. 17. 9. 14	18. 4. 7	20. 3. 31
19	桑原仁	S. 23. 2. 05	20. 4. 4	22. 4. 6
〃	〃	〃	22. 4. 6	24. 3. 31
20	田中貞一	S. 26. 1. 26	24. 4. 4	26. 4. 4
21	高橋篤	S. 27. 1. 16	26. 4. 4	28. 3. 31
22	高橋弘	S. 21. 10. 17	28. 4. 6	30. 4. 6
23	川合猛	S. 22. 1. 25	30. 4. 6	R. 2. 3. 31
24	船山利美	S. 29. 2. 22	R. 2. 4. 6	2. 4. 5
25	梅川信治	S. 24. 7. 29	4. 4. 5	6. 3. 31
26	島津善衛門	S. 29. 1. 28	6. 4. 4	8. 4. 6
27	〃	〃	8. 4. 6	在職中

10 歴代事務局長

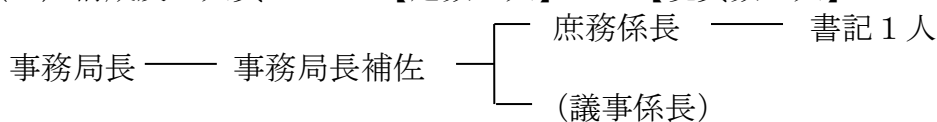
代位	氏名	就任月日	退任月日	摘要
初代	山田 貞雄	S.42. 4. 1	S.47. 3.31	
2	阿部 内蔵之助	47. 4. 1	52. 3.31	
3	清水 辰雄	52. 4. 1	54. 3.31	
4	斎藤 武	54. 4. 1	61. 3.31	
5	竹田 光雄	61. 4. 1	62. 5.31	
6	志藤 和光	62. 6. 1	H. 1. 3.31	
7	笹木 明夫	H. 1. 4. 1	4. 3.31	
8	桑原 弘	4. 3.31	6. 3.31	
9	平 宮雄	6. 4. 1	8. 3.31	
10	清水 勝美	8. 4. 1	10. 3.31	
11	長岡 昭広	10. 4. 1	15. 3.31	
12	鈴木 勝	15. 4. 1	17. 3.31	
13	樋口 一志	17. 4. 1	18. 3.31	
14	佐藤 正昌	18. 4. 1	20. 3.31	
15	須藤 公一	20. 4. 1	22. 3.31	
16	斉藤 彰助	22. 4. 1	24. 3.31	
17	中條 晴雄	24. 4. 1	25. 3.31	
18	大沼 豊広	25. 4. 1	26.12.31	
19	尾形 真人	27. 1. 1	30. 3.31	
20	高梨 敏彦	30. 4. 1	R. 3. 3.31	
21	安部 真由美	R. 3. 4. 1	6. 3.31	
22	尾形 久代	6. 4. 1	7. 3.31	
23	太田 徹	7. 4. 1	在職中	

11 議会事務局

(1) 構成及び人員

【定数6人】

【現員数4人】



○ 職員数

(令和8年4月1日現在)

	市長 部局	議会	教委	農委	選挙	監査	公営	合計
定数	271	6	87	8	3	3	23	401
職員数	204	4	56	4	2	2	17	289

(2) 議会棟の現況

昭和57年4月25日竣工

○ 議会棟面積等

議席	30席	議長・副議長室	36.5 m ²
執行部	30席	議長公室	71.5 m ²
速記者	2席	議員控室(1室)	113.0 m ²
一般傍聴	41席	議員全員協議会室	109.5 m ²
記者	5席	委員会室(2室)	74.0 m ²
事務室	39.8 m ²	図書室	39.0 m ²
議場	217.5 m ²	モニタ一室	12.5 m ²
		傍聴席	61.5 m ²

Ⅲ 議会活動状況(令和7年分)

1 議会開催状況

区分	会期日程	会期日数	本会議日数	議案件数			決議態様						本会議時間数	
				市長提案	議員提案	計	可決	同意	認定	承認	撤回	その他		
定例会	3月	3月 3日 ～3月21日	19	5	41	2	43	37	3		3			6:41
	6月	6月 2日 ～20日	19	4	16	1	17	10	2				5	7:24
	9月	9月 1日 ～19日	19	4	27		27	14	2	8			3	7:46
	12月	11月28日 ～ 12月19日	22	5	20	1	21	19	2					7:39
	小 計		79	18	104	4	108	80	9	8	3		8	29:30
臨時会	1回	4月21日	1	1	5	0	5	5						0:29
	小 計		1	1	5	0	5	5						0:29
合 計		80	19	109	4	113	85	9	8	3		8	29:59	

2 議案提出状況

区 分		議 決 事 件										
		条 例	予 算	決 算	意 見 書	決 議	専決処分		同 意	契 約	そ の 他	合 計
							条例	予算				
定 例 会	3月	18	13		2			3	2		5	43
	6月	1	3		1				2		10	17
	9月	4	5	8					1		9	27
	12月	4	8		1				2		6	21
	小計	27	29	8	4			3	7		30	108
臨 時 会	1回	4									1	5
	小計	4									1	5
合 計		31	29	8	4			3	7		31	113

3 議案・議決状況

(1) 市長提出付議事件数

区	分	原案可決	修正可決	否決	継続審議	審議未了	撤回	件数合計
地方自治法第96条1項議決事件	条 例(1号)	31						31
	予 算(2号)	29						29
	決 算(3号)	8						8
	4号から14号までの議案	7						7
専 決 処 分 案 件		3						3
地方自治法第96条1項15号及び96条2項を含むその他すべての議案		31						31
合 計		109						109

(2) 議員提出付議事件数

区 分	原案可決	修正可決	否 決	継続審議	審議未了 撤 回 そ の 他	合 計
条 例	1					1
規 則						
意 見 書	2					2
決 議						
そ の 他	1					1
合 計	4					4

4 請願処理状況

採 択	不採択	翌年へ繰越	取り下げ	審議未了	受案件数
2					2

5 一般質問者数

3月定例会 (3日)	6月定例会 (2日)	9月定例会 (2日)	12月定例会 (3日)	合 計 (10日)
7 人	8 人	9 人	8 人	32 人

6 傍聴者数

(報道関係者除く)

3 月 定例会	6 月 定例会	9 月 定例会	12 月 定例会	臨時会	合 計
23 人	14 人	11 人	5 人	0 人	53 人

7 一般質問

3月定例会

質問者	質問事項
茂出木 純也	1. これからの防災について 2. 部活動地域移行について
佐藤 和広	1. 災害に対する南陽市の対応 2. 令和6年度施政方針、「発信力のあるまちづくりを進める」について
外山 弘樹	1. AED（自動体外式除細動器）の設置状況と管理について
大友 太朗	1. 事業所・商店の後継者育成と伝統文化の担い手不足対策について 2. 地域文化財の活用・保管対策について
小松 武美	1. 米の価格高騰対策と持続可能な農業について 2. カスタマーハラスメント防止対策について
高橋 一郎	1. 事業遂行とマンパワー 2. 市長の政治姿勢について
中村 孝律	1. 本市における市民バスの運行状況と今後の在り方について 2. 地域公共交通の整備計画と今後の展望について 3. 本市における防犯への取組について

6月定例会

質問者	質問事項
濱田 藤兵衛	1. 訪問介護について
中村 孝律	1. スマートインターチェンジ整備と中川地区新産業団地計画について 2. 災害時の水源確保について
山口 裕昭	1. 旧ハイジアパーク南陽の今後について 2. 国民保護協議会について
佐藤 信行	1. 本市におけるふるさと納税の現状と今後の課題並びに未来にむけた施策について

質 問 者	質 問 事 項
高 橋 一 郎	1. 中川地区大手企業の新工場の上山進出について 2. 本市の産業振興 3. 本市の企業等誘致 4. 交通に便利等の立地条件
小 松 武 美	1. 南陽高校に対しての本市の支援について 2. 既存の公民館とコミュニティセンターの違いについて
高 岡 遼 多	1. 新型コロナワクチン接種後の副作用や後遺症について 2. 置賜地方広域による産業・工業団地造成と定住人口の確保について
須 藤 清 市	1. 市民参加でのまちづくり推進の充実に向けて

9月定例会

質 問 者	質 問 事 項
茂出木 純 也	1. 本市の財政状況について 2. 本市の補助金政策について
濱 田 藤兵衛	1. 南陽市の介護分野での新たな状況について 2. 介護分野での課題の根本的な解決策
山 口 裕 昭	1. 旧ハイジアパークの今後について 2. ソーラーシェアリングについて
佐 藤 和 広	1. 選挙における南陽市の投票率について 2. 防災に対する本市の対応について
外 山 弘 樹	1. 市立図書館について 2. リチウムイオン電池の回収方法について
大 友 太 朗	1. 障害者福祉の取り組み・支援対策について 2. 南陽高校の存続に向けた取り組みについて
高 橋 一 郎	1. 旧ハイジアパーク南陽及び敷地内の再生活用策について 2. 移動手段の確保と地域交通の改善
小 松 武 美	1. 水道管及び下水道管の定期的な更新について 2. 水道事業民営化の問題点について 3. 夜間中学の開校について

質 問 者	質 問 事 項
須 藤 清 市	1. これからの南陽市の人口について 2. 南陽市の「これまで・今・これから」にむけて

1 2月定例会

質 問 者	質 問 事 項
濱 田 藤兵衛	1. 学校給食の無償化に係る現状と来年度以降の方向性について
中 村 孝 律	1. 鳥獣被害防止対策について 2. 人口減少に対応する方策について 3. 街路樹の現状、課題について
小 松 武 美	1. 特定健康診断受診率を向上させるには 2. 中川地区の産業団地の早期実現について
佐 藤 信 行	1. いじめ問題について
伊 藤 英 司	1. 認知症対策に関する本市の取組について 2. 物価高騰対策について
高 橋 一 郎	1. 市役所働き方改革と市民サービスの両立について 2. 熊対策の抜本策について 3. 台湾との交流推進について
大 友 太 朗	1. 市民生活を守る除雪対策について 2. 選ばれる市役所になるための働き方改革について
高 岡 遼 多	1. DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進について 2. 人材確保について 3. AI（人工知能）の活用状況について

8 議員発議状況及び審査結果

区 分	発議番号	件 名	審査結果
3月定例会	第1号	沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋め立てに使用しないよう求める意見書の提出について	原案可決
3月定例会	第2号	南陽市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
6月定例会	第3号	日米地位協定の見直しを求める意見書の提出について	原案可決

区 分	発議番号	件 名	審査結果
1 2月定例会	第4号	情報管理適正化及び地域公共交通対策特別委員会の設置について	原案可決

9 請願審査結果

番 号 (付託委員会)	件 名	請 願 者	議 決 年月日	結 果
第1号 (総務)	沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋め立てに使用しないよう求める意見書の提出について	沖縄「平和の礎」名前を読み上げる山形の会 代表 漆山ひとみ	7.3.21	採 択
第2号 (総務)	日米地位協定の見直しを求める意見書の提出について	沖縄に応答する会@山形 代表 漆山ひとみ	7.6.20	採択

10 各常任委員会等行政視察状況

委 員 会 名	視 察 地	視 察 事 項
総務常任委員会 6月24日～26日	沖縄県南城市	1. 人口増の取組と人口減対策について 2. まちづくりに対する市民の意見把握と行政区の捉え方の仕組、支援について 3. 南城市デジタル田園都市構想とDX推進計画の特長、狙い
	沖縄県糸満市	1. 大戦後の遺骨回収の取組について
文教厚生常任委員会 7月14日～16日	大阪府寝屋川市	1. 寝屋川市いじめ防止基本方針の取り組みについて 2. 子どもを守る位置情報(GPS)サービスについて
	大阪府守口市	1. 部活動地域移行について 2. コミュニティスクールについて
産業建設常任委員会 7月22日～24日	和歌山県有田市	1. 有田市農業次世代人材投資事業(定住型)「AGRI-LINK IN ARIDA」について
	和歌山県橋本市	1. 空家等対策について
議会運営委員会 11月10日～12日	台湾台北市	1. 日台貿易概況及び日本産食品の輸出状況について 2. インバウンド・アウトバウンドの概況及び海外誘客プロモーションについて 3. 現地小売店での日本産食品の取り扱い状況

委員会名	視察地	視察事項
議会報編集委員会 10月14日～15日	新潟県聖籠町	1. 議会だよりの編集、発行、全般について

1.1 行政視察来市状況

月日	議会名	調査事項	人数 (内随行)
4月16日	愛知県岡崎市	1. ラーメン課R&Rプロジェクトについて	4 (0)
6月24日	山梨県甲府市	1. ラーメン課R&Rプロジェクトについて	10 (0)
7月2日	山形県村山市	1. 有害鳥獣対策について	7 (1)
8月8日	宮城県大崎市	1. 訪問介護基本報酬引き下げの影響と独自支援策について 2. 地域内交通の維持充実をめざす取り組み「おきタク」について	4 (0)
10月22日	鳥取県米子市	1. 地域公共交通「おきタク」の取組みについて	4 (0)
11月6日	岩手県花巻市	1. 南陽市障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例について	8 (2)
11月20日	岩手県宮古市	1. 行政DX	7 (1)
1月29日	北海道旭川市	1. ラーメン課R&Rプロジェクトについて	4 (0)
2月19日	栃木県足利市	1. シェルターなんようホールについて	5 (2)
3月23日	埼玉県狭山市	1. 生成AI利活用について	6 (0)

IV 行 財 政

1 歴代市長

代 位	氏 名	生 年 月 日	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日	摘 要
職 務 執 行 者	佐 藤 義 一	M. 35. 11. 3	S. 42. 4. 1	S. 42. 4. 17	S. 42. 4. 1 市制施行
初 代	〃	〃	S. 42. 4. 28	S. 50. 3. 29	
2	遠 藤 東 平	T. 5. 11. 7	S. 50. 4. 28	S. 53. 3. 10	
3	須 藤 直 一 郎	M. 39. 11. 22	S. 53. 4. 16	S. 53. 6. 15	
4	新 山 昌 孝	T. 15. 6. 8	S. 53. 7. 30	S. 61. 7. 29	
5	大 竹 俊 博	S. 14. 12. 2	S. 61. 7. 30	H. 10. 7. 29	
6	荒 井 幸 昭	S. 15. 6. 23	H. 10. 7. 30	H. 18. 7. 29	
7	塩 田 秀 雄	S. 27. 12. 11	H. 18. 7. 30	H. 26. 7. 29	
8	白 岩 孝 夫	S. 44. 1. 29	H. 26. 7. 30	在 職 中	

2 歴代助役（～H19. 3. 31）・副市長（H19. 4. 1～）

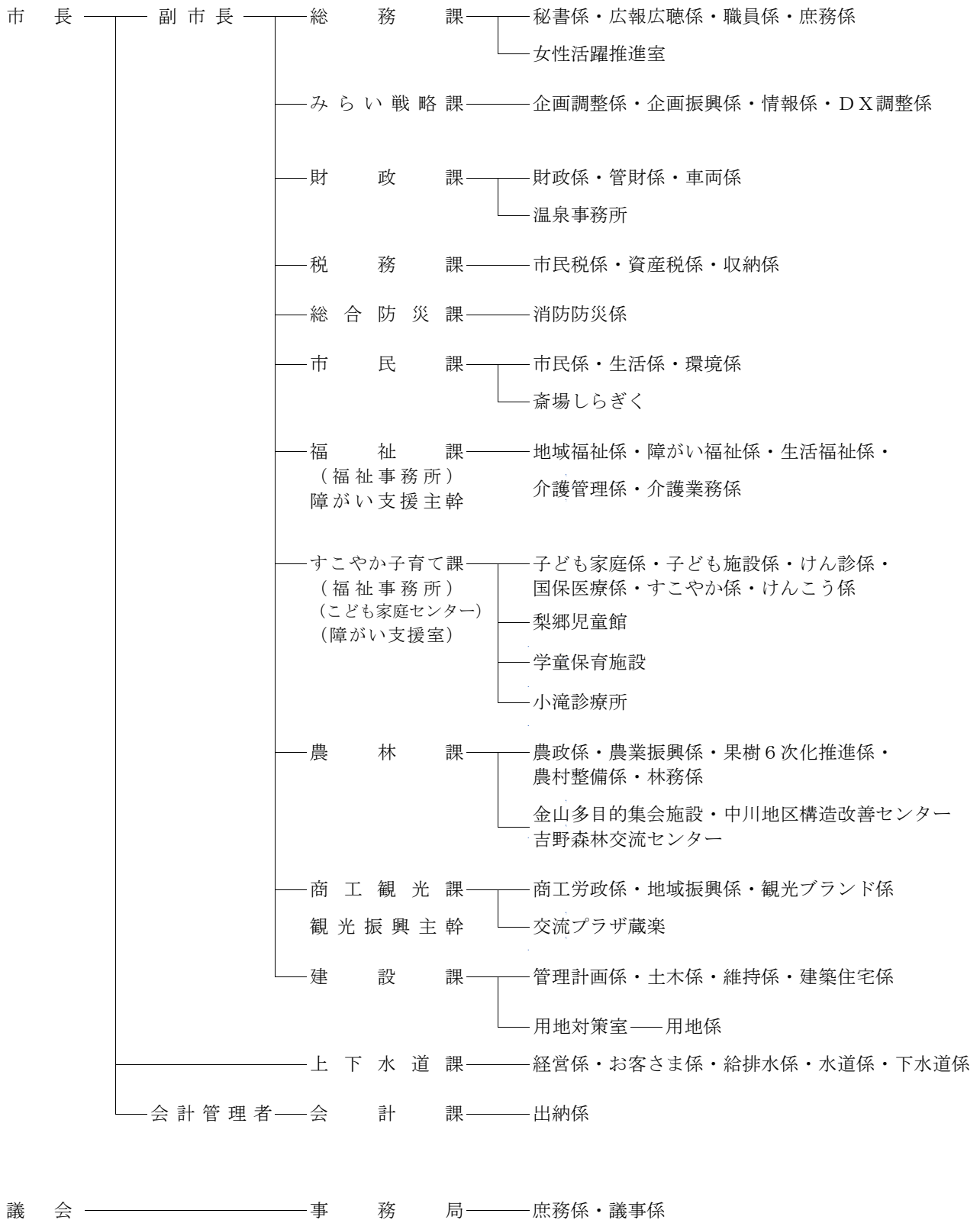
代 位	氏 名	生 年 月 日	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日	摘 要
初 代	三 浦 玄 一	M. 44. 10. 15	S. 43. 11. 1	S. 51. 10. 31	
2	鈴 木 繁 次	T. 8. 3. 18	S. 53. 1. 1	S. 53. 2. 2	
3	村 山 純 一	T. 12. 11. 12	S. 53. 6. 1	S. 61. 5. 31	
4	滝 澤 政	S. 3. 10. 11	S. 62. 6. 1	H. 7. 3. 31	
5	笹 木 明 夫	S. 9. 2. 8	H. 7. 4. 1	H. 9. 3. 31	
6	高 山 和 夫	S. 12. 3. 15	H. 9. 5. 1	H. 13. 4. 30	
7	大 場 忠 夫	S. 20. 11. 20	H. 15. 4. 1	H. 18. 7. 29	
8	柴 田 誠	S. 20. 1. 29	H. 18. 10. 1	H. 22. 9. 30	
9	安 達 正 司	S. 27. 4. 2	H. 23. 4. 1	H. 26. 7. 29	
10	大 沼 豊 広	S. 30. 2. 3	H. 27. 1. 1	在 職 中	

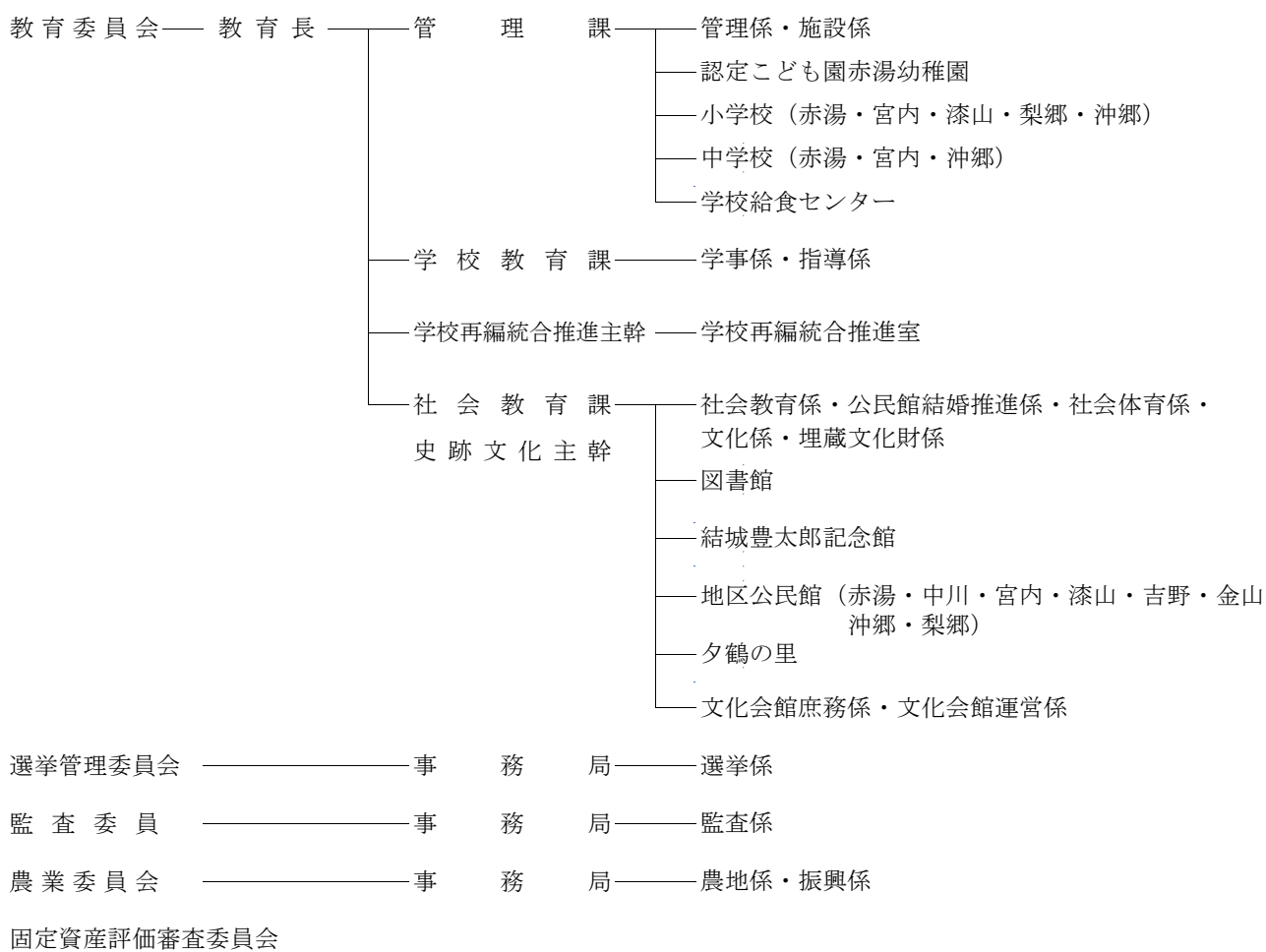
3 歴代収入役

代 位	氏 名	生 年 月 日	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日	摘 要
初 代	近 野 伊 重	M. 40. 5. 13	S. 42. 7. 1	S. 46. 6. 30	
2	新 山 清 一	T. 4. 2. 15	S. 46. 10. 1	S. 50. 9. 30	
3	佐々木 富次郎	T. 7. 6. 11	S. 50. 10. 1	S. 54. 9. 30	
4	殿 岡 廣 司	T. 12. 2. 8	S. 55. 4. 1	S. 61. 8. 31	
5	滝 澤 政	S. 3. 10. 11	S. 61. 10. 1	S. 62. 5. 31	
6	竹 田 光 雄	S. 4. 7. 29	S. 62. 6. 1	H. 5. 3. 31	
7	笹 木 明 夫	S. 9. 2. 8	H. 5. 4. 1	H. 7. 3. 31	
8	後 藤 武 夫	S. 15. 8. 15	H. 7. 4. 1	H. 15. 3. 31	
9	齋 藤 誠 一	S. 19. 10. 31	H. 15. 4. 1	H. 18. 7. 29	

南陽市行政機構図

令和8年4月1日





5 令和8年度 議会費（当初予算）

（単位：千円）

区 分(節)	令和8年度		令和7年度		比較 増減	対前年 増減率 (%)
	予算額	構成比 (%)	予算額	構成比 (%)		
1 報 酬	74,160	41.5	74,160	42.1	0	0.0
2 給 料	19,205	10.7	18,382	10.4	823	4.5
3 職員手当等	40,083	22.4	39,113	22.2	970	2.5
4 共 済 費	24,433	13.7	27,575	15.6	△ 3,142	△ 11.4
7 報 償 費	839	0.5	195	0.1	644	330.3
8 旅 費	9,564	5.3	6,636	3.8	2,928	44.1
9 交 際 費	800	0.4	800	0.5	0	0.0
10 需 用 費	3,308	1.9	2,420	1.4	888	36.7
11 役 務 費	226	0.1	226	0.1	0	0.0
12 委 託 料	1,413	0.8	2,220	1.3	△ 807	△ 36.4
13 使用料及び賃借料	2,027	1.1	1,662	0.9	365	22.0
17 備品購入費	32	0.0	32	0.0	0	0.0
18 負担金補助 及び交付金	2,809	1.6	2,806	1.6	3	0.1
合 計	178,899	100.0	176,227	100.0	2,672	1.5

6 令和8年度 一般会計（当初予算）

歳 入

（単位：千円）

区 分	令和8年度		令和7年度		比較増減	対前年 増減率 (%)
	予算額	構成比 (%)	予算額	構成比 (%)		
1 市 税	3,673,999	19.7	3,645,332	21.2	28,667	0.8
2 地方譲与税	146,349	0.8	150,687	0.9	△ 4,338	△ 2.9
3 利子割交付金	8,000	0.0	3,000	0.0	5,000	166.7
4 配当割交付金	16,000	0.1	8,000	0.0	8,000	100.0
5 株式等譲渡所得割交付金	25,000	0.1	14,000	0.1	11,000	78.6
6 法人事業税交付金	46,000	0.3	46,000	0.3	0	0.0
7 地方消費税交付金	858,757	4.6	798,000	4.6	60,757	7.6
8 環境性能割交付金	18,000	0.1	16,000	0.1	2,000	12.5
9 地方特例交付金	38,171	0.2	25,000	0.2	13,171	52.7
10 地方交付税	4,982,000	26.7	4,650,000	27.0	332,000	7.1
11 交通安全対策特別交付金	4,500	0.0	4,500	0.0	0	0.0
12 分担金及び負担金	78,529	0.4	80,317	0.5	△ 1,788	△ 2.2
13 使用料及び手数料	118,831	0.6	119,395	0.7	△ 564	△ 0.5
14 国庫支出金	2,623,182	14.1	2,252,850	13.1	370,332	16.4
15 県支出金	1,497,130	8.0	1,447,390	8.4	49,740	3.4
16 財産収入	20,475	0.1	18,552	0.1	1,923	10.4
17 寄附金	1,505,650	8.1	1,005,935	5.8	499,715	49.7
18 繰入金	1,373,146	7.4	1,510,677	8.8	△ 137,531	△ 9.1
19 繰越金	300,000	1.6	300,000	1.7	0	0.0
20 諸収入	233,081	1.3	411,365	2.4	△ 178,284	△ 43.3
21 市債	1,084,200	5.8	703,000	4.1	381,200	54.2
合 計	18,651,000	100.0	17,210,000	100.0	1,441,000	8.4

歳 出

(単位:千円)

区 分	令和8年度		令和7年度		比較増減	対前年 増減率 (%)
	予算額	構成比 (%)	予算額	構成比 (%)		
1 議 会 費	178,899	1.0	176,227	1.0	2,672	1.5
2 総 務 費	3,755,386	20.1	2,985,807	17.4	769,579	25.8
3 民 生 費	5,771,433	30.9	5,638,024	32.8	133,409	2.4
4 衛 生 費	1,558,317	8.4	1,328,883	7.7	229,434	17.3
5 労 働 費	57,355	0.3	42,624	0.3	14,731	34.6
6 農林水産業費	725,207	3.9	722,608	4.2	2,599	0.4
7 商 工 費	463,710	2.5	410,871	2.4	52,839	12.9
8 土 木 費	1,660,212	8.9	1,814,830	10.5	△ 154,618	△ 8.5
9 消 防 費	922,933	4.9	804,119	4.7	118,814	14.8
10 教 育 費	1,979,761	10.6	1,692,931	9.8	286,830	16.9
11 災害復旧費	37,740	0.2	37,740	0.2	0	0.0
12 公 債 費	1,520,007	8.2	1,535,328	8.9	△ 15,321	△ 1.0
13 諸 支 出 金	40	0.0	8	0.0	32	400.0
14 予 備 費	20,000	0.1	20,000	0.1	0	0.0
合 計	18,651,000	100.0	17,210,000	100.0	1,441,000	8.4

7 令和8年度 各会計予算

(一般会計・特別会計)

(単位：千円)

区 分		令和8年度 当初予算額	令和7年度 当初予算額	比較増減	
				予算額	増減率(%)
一般会計		18,651,000	17,210,000	1,441,000	8.4
特別 会計	国民健康保険特別会計	3,266,880	3,168,889	97,991	3.1
	財産区特別会計	137,883	139,463	△ 1,580	△ 1.1
	育英事業特別会計	3,841	3,639	202	5.6
	介護保険特別会計	3,627,654	3,724,315	△ 96,661	△ 2.6
	後期高齢者医療特別会計	579,760	504,380	75,380	14.9
	小 計	7,616,018	7,540,686	75,332	1.0
合 計		26,267,018	24,750,686	1,516,332	6.1

(企業会計)

(単位：千円)

区 分			令和8年度 当初予算額	令和7年度 当初予算額	比較増減	
					予算額	増減率(%)
水道事業	収益的収支	収入	783,404	796,644	△ 13,240	△ 1.7
		支出	770,861	776,999	△ 6,138	△ 0.8
	資本的収支	収入	102,383	67,125	35,258	52.5
		支出	393,056	371,257	21,799	5.9
※資本的収支の差については、損益勘定留保資金、利益剰余金(積立金)、消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補填						
下水道事業	収益的収支	収入	1,027,584	1,057,694	△ 30,110	△ 2.8
		支出	1,017,725	1,049,859	△ 32,134	△ 3.1
	資本的収支	収入	687,437	789,265	△ 101,828	△ 12.9
		支出	1,060,502	1,167,163	△ 106,661	△ 9.1
※資本的収支の差については、損益勘定留保資金、消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補填						

8 令和8年度 一般会計歳出予算（性質別予算）

（単位：千円）

区 分	令和8年度当初		令和7年度当初		比較増減 (A)-(B)
	予算額(A)	構成比 (%)	予算額(B)	構成比 (%)	
人件費	3,019,718	16.2	2,933,905	17.1	85,813
物件費	3,039,334	16.3	2,440,250	14.2	599,084
維持補修費	333,473	1.8	317,240	1.8	16,233
扶助費	3,649,647	19.6	3,513,688	20.4	135,959
補助費等	3,368,237	18.0	3,253,877	18.9	114,360
普通建設事業費	1,435,057	7.7	1,166,047	6.8	269,010
災害復旧事業費	37,740	0.2	37,740	0.2	0
公債費	1,519,996	8.1	1,535,317	8.9	△ 15,321
積立金	802,645	4.3	568,808	3.3	233,837
投資及び出資金		0			
貸付金	30,000	0.2	30,000	0.2	0
繰出金	1,395,153	7.5	1,393,128	8.1	2,025
予備費	20,000	0.1	20,000	0.1	0
合 計	18,651,000	100.0	17,210,000	100.0	1,441,000
特定財源	7,293,764	39.1	6,294,718	36.6	999,046
一般財源	11,357,236	60.9	10,915,282	63.4	441,954



令和8年4月作成